

# SafeErase

コンタミネーション除去

コンタミネーション除去はどこも同じ  
…でもライコニックは違います

- 熱を使わない

## Heat Free Decontamination

- 安全な使い方

## Safe to Use

- 安全な電子機器

## Safe on Electronics

- 短時間処理

## Fast Cycle Times

- 残留物が残らない

## No Residue

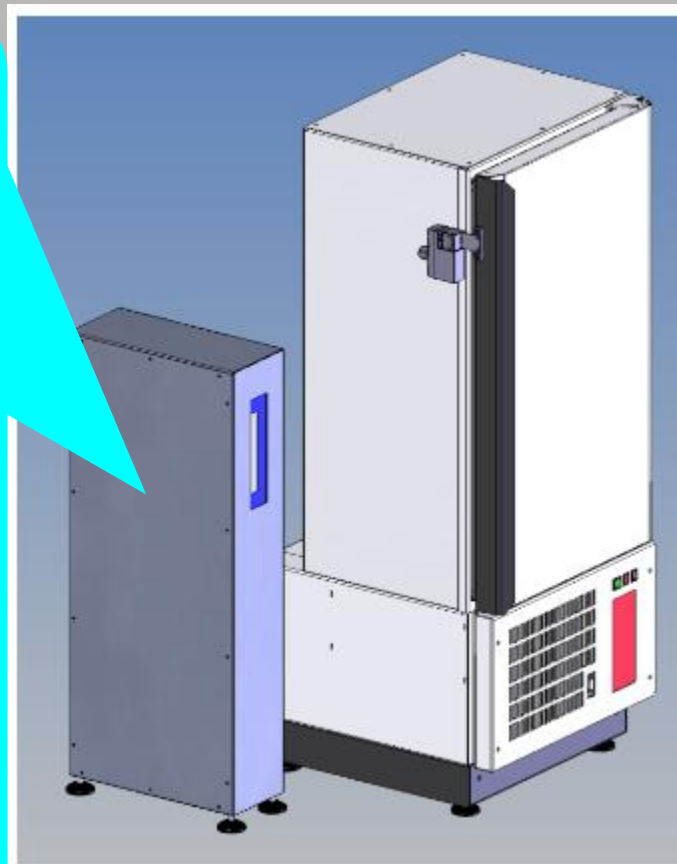
- **ClorDysis** テクノロジー,  
二酸化塩素での熟練した汚染除去

- **CL2 – ClO2-FILTER**

SafeEraseによる除染は最も安全で使い易く、最小の分子がまんべんなく行き渡り、残留の心配がありません。

ガスは空間内の全表面に均等かつ自然に到達することができます。あらゆる微生物よりも分子サイズが小さいことに加えて、全面に接触して汚染除去されるので、まんべんなく空間除染が可能になります。

電子機器に有害な熱や化学薬品を使用することなく除染出来、機器にもダメージがありません。



**CD ClorDiSys**

Lebanon, NJ USA  
Est. 2001

[www.clordisys.com](http://www.clordisys.com)  
908-236-4100

◆ Safe Eraseは米ClorDiSys社と共同開発をしております。

ClorDiSys Solutions, Inc.は、Johnson and Johnsonで、二酸化塩素ガス滅菌技術を開発した創業者によって、2001年にニュージャージー州レバノンに設立されました。

# 汚染除去 SafeErase

## SafeEraseのしくみ

塩素タンクの供給環境が必要です。

塩素タンクは弊社の**CDD box**と呼ばれる装置に接続します。

“オン”にすると、

1. 塩素が**CDD box**内に供給される
2. 二酸化炭素を生成するカートリッジを通過することによって塩素が酸化する。
3. 内蔵された特殊フィルターにより、4% の二酸化塩素が生成され、装置のチャンバー内に流入、**2~4時間**走行させる( 所要時間はチャンバーの大きさによって異なる)

“オフ”の状態では

1. 二酸化塩素の流入は起こらない
2. 二酸化炭素が空のチャンバーに流入する
3. 二酸化塩素と二酸化炭素の両方がカーボンフィルターを通じて外部へ放出される

**Dioxide generating filters** と **carbon filter**は、年に1度、定期点検の際に交換されることをお勧めします。年間の走行推奨回数は検証中ですが、少なくとも月に1度の走行をお勧めします。

SafeErase汚染除去は、

1. 庫内の全表面に到達
2. 隅々まで行き渡る

